

がん薬物療法情報提供書(分子標的薬・殺細胞性抗がん薬用)

※ 免疫チェックポイント阻害剤との併用の場合は、がん化学療法情報提供書(免疫チェックポイント阻害剤用)を併用して下さい。

担当医	科	先生	保険薬局 名称:
患者ID:			所在地:
患者名:			Tell、FAX:
			担当薬剤師名:
確認日:	確認方法: ☐ テレフォンフォローアップ時 ☐ 投薬時 ☐ 在宅訪問時 ☐ その他 ()		

●副作用の評価(治療開始前と比較): の症状は重大な副作用の可能性が考えられますので、速やかに病院に連絡をお願いいたします。
各症状の該当する項目に✓または○をしてください。未確認の症状は未記入として下さい。

薬剤名: -

体重の変化→ ☐ なし ☐ あり【前回: kg (測定日)→今回: kg(測定日)】

発熱(腋窩37.5℃以上)	☐ なし	☐ あり	
間質性肺疾患(空咳・呼吸苦・軽動作での息切れ等)	☐ なし	☐ あり	
該当なし	Grade 1	Grade 2	Grade 3
☐ 悪心(吐き気)	☐ 摂食習慣に影響のない食欲低下	☐ 顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	☐ カロリーや水分の経口摂取が不十分; 経管栄養/TPN/入院を要する
☐ 嘔吐	☐ 治療を要さない	☐ 外来での静脈内栄養を要する; 内科的治療を要する	☐ 経管栄養/TPN/入院を要する
☐ 倦怠感	☐ だるさがある、または元気がない	☐ 身の回り以外の日常生活動作を制限するだるさがある、または元気がない状態	☐ 身の回りの日常生活動作を制限するだるさがある、または元気がない状態
☐ 口腔粘膜炎(口内炎)	☐ 症状がない、または軽度の症状; 治療を要さない	☐ 経口摂取に支障がない中等度の疼痛または潰瘍; 食事の変更を要する	☐ 高度の疼痛; 経口摂取に支障がある
☐ 下痢	☐ ベースラインと比べて<4回/日の排便回数増加; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が軽度増加	☐ ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量の中等度増加; 身の回り以外の日常生活動作の制限	☐ ベースラインと比べて7回以上/日の排便回数増加; 入院を要する; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量の高度増加; 身の回りの日常生活動作の制限
☐ 便秘	☐ 不定期または間欠的な症状; 便軟化薬/緩下薬/食事の工夫/浣腸を不定期に使用	☐ 緩下薬または浣腸の定期的な使用を要する持続的な症状; 身の回り以外の日常生活動作の制限	☐ 排便を要する頑固な便秘; 身の回りの日常生活動作の制限
☐ -	☐ -	☐ -	☐ -
☐ -	☐ -	☐ -	☐ -
☐ -	☐ -	☐ -	☐ -
☐ -	☐ -	☐ -	☐ -
-	☐ -	☐ -	☐ -
-	☐ -	☐ -	☐ -
-	☐ -	☐ -	☐ -

(CTCAE v5.0-JCOG|CTCAE v5.0/MedDRA v20.1 (日本語表記MedDRA/J v22.1) 対応)を一部変更)

●服薬状況の確認、支持療法の評価(外用剤も含む)

経口抗がん薬または支持療法の有無: ☐ あり ☐ なし	薬剤名:	残薬:
服薬状況: ☐ 継続服用できている ☐ 継続服用できていない ☐ その他()		
継続服用できていない理由: ☐ 副作用 ☐ 飲み忘れ ☐ 用法用量の理解不足 ☐ その他()		

●その他特記事項(処方提案、症状の詳細、他院での処方薬など)

--